

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 日邦産業株式会社

コード番号 9913 URL <http://www.nip.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長

(氏名) 大塚 真治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CSR統括部長

(氏名) 三上 仙智

四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日

TEL 0587-98-1227

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	20,644	△4.3	△136	—	△292	—	△341	—
26年3月期第2四半期	21,565	2.2	110	△80.3	442	△17.1	238	92.6

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △346百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 972百万円 (348.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第2四半期	△37.79	—
26年3月期第2四半期	26.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	27,524	—	9,903	—	35.7	—
26年3月期	27,303	—	10,283	—	37.4	—

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 9,839百万円 26年3月期 10,219百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	42,000	△2.1	△130	—	△100	—	△290	—	△31.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	9,127,338 株	26年3月期	9,127,338 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	18,723 株	26年3月期	240,353 株
----------	----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	9,045,311 株	26年3月期2Q	8,887,058 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13
(重要な後発事象)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の日本経済を取り巻く環境は、円安トレンドが続き輸出型企業においてはプラスの影響をあたえましたが、4月の消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動が依然として残り、また輸入原材料、電気料金、燃料代が値上がりするなど、依然として不透明な状況下で推移しました。また海外経済を取り巻く環境も、米国及び欧州、並びに中国を含む新興国経済の成長も力強さに欠ける中で推移しました。

このような環境のもと、当社グループは日本、アセアン及び北中米地域において、中長期視点に立った事業収益の基盤づくりを進めておりますが、足元の事業収益については、タイにおける政情不安、エコカー減税終了の影響、並びに精密機器セグメントの主要顧客の生産委託計画の変更による影響を大きく受ける形で推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は20,644百万円（前年同期比4.3%減）、営業損失は136百万円（前年同期は110百万円の営業利益）、経常損失は292百万円（前年同期は442百万円の経常利益）、四半期純損失は341百万円（前年同期は238百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

・モビリティ

自動車メーカー及び自動車部品メーカーに対して、電子制御関連部品を核とした樹脂成形品及び同組立を国内外で製造・販売しております。

当該事業の業績は、当該事業を牽引してきたタイ事業が政情不安とエコカー減税終了の影響により減速し、また来期から本格的な量産体制に入るインドネシア事業の先行投資費用の影響を受ける中で推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は5,466百万円（前年同期比11.3%減）、全社費用配賦前のセグメント利益110百万円（前年同期比63.7%減）、配賦後のセグメント利益は26百万円（前年同期比88.4%減）となりました。

・エレクトロニクス

電子部品及びクリーンエネルギー関連のメーカーに対して、専門商社として高機能材料、部品、治具及び機器等を国内外で販売しています。

当該事業の業績は、スマートフォン、タブレット型端末及び燃料電池用部材の好調な引き合いに支えられ、国内業績は堅調に推移しましたが、海外業績は主要顧客の事業撤退による影響を受ける中で推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は9,494百万円（前年同期比1.9%増）、全社費用配賦前のセグメント利益は214百万円（前年同期比34.5%減）、配賦後のセグメント損失は33百万円（前年同期は19百万円のセグメント損失）となりました。

・精密機器

オフィスオートメーション、デジタルイメージング、医療機器等の関連メーカーに対して、樹脂成形品の製造及び販売を国内外で展開しております。

当該事業の業績は、中華圏とアセアン地域ともに主要顧客の生産委託計画の変更による影響を大きく受ける中で推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は2,978百万円（前年同期比25.3%減）、全社費用配賦前のセグメント損失は91百万円（前年同期は41百万円のセグメント利益）、配賦後のセグメント損失は115百万円（前年同期は15百万円のセグメント利益）となりました。

・住宅設備

住宅設備の関連メーカーに対して、専門商社として、またファブレスメーカーとして、樹脂成形品、ブラインド・介護用ベッドのコントロールユニット、高機能材料並びに機器等を国内外で販売しています。

当該事業の業績は、国内外で堅調に推移してきた高効率給湯器向けの樹脂成形品・配管部品、建築材料並びに、燃料電池の関連部材の引き合いが鈍化し、また自社企画商品の開発費及びタイにおける市場開拓費用の影響を受ける中で推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は1,645百万円(前年同期比5.7%減)、全社費用配賦前のセグメント利益は47百万円(前年同期比54.3%減)、配賦後のセグメント損失は36百万円(前年同期は22百万円のセグメント損失)となりました。

・その他

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RFID事業等を含んでおります。

当第2四半期連結累計期間におけるその他の売上高は1,274百万円(前年同期比25.5%増)、全社費用配賦前のセグメント利益は124百万円(前年同期は19百万円のセグメント損失)、配賦後のセグメント利益は70百万円(前年同期は76百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて34百万円増加し15,098百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が168百万円、電子記録債権が72百万円減少したものの、現金及び預金が231百万円、棚卸資産が22百万円増加したことなどが主な要因となっております。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べて186百万円増加し12,425百万円となりました。これは、有形固定資産合計が226百万円減少したものの、投資その他の資産合計が425百万円増加したことなどが主な要因となっております。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて221百万円増加し27,524百万円となりました。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて250百万円減少し13,247百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が654百万円増加したものの、短期借入金が802百万円、1年内返済予定の長期借入金が79百万円減少したことなどが主な要因となっております。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べて851百万円増加し4,373百万円となりました。これは長期借入金が802百万円増加したことなどが主な要因となっております。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて600百万円増加し、17,621百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて379百万円減少し9,903百万円となりました。これは利益剰余金が475百万円減少し、自己株式を143百万円処分したことなどが主な要因となっております。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末より1.7ポイント減少の35.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて233百万円の資金の増加となり5,473百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,094百万円の資金の増加（前年同四半期は1,715百万円の資金の増加）となりました。これは仕入債務の増減額により717百万円、減価償却費により613百万円増加したことなどが主な要因となっております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、622百万円の資金の減少（前年同四半期は510百万円の資金の減少）となりました。これは有形固定資産の売却による収入により157百万円増加したものの、有形固定資産の取得による支出により546百万円、子会社株式の取得による支出により246百万円減少したことなどが主な要因となっております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、289百万円の資金の減少（前年同四半期は716百万円の資金の減少）となりました。これは長期借入れによる収入により1,000百万円増加したものの、短期借入金の純増減額により781百万円の減少、長期借入金の返済による支出により294百万円の減少があったことなどが主な要因となっております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、中長期視点に立った事業収益の基盤づくりを進めておりますが、これらの活動は次年度以降の収益貢献は見込まれるものの、本連結会計年度には収益貢献ができないと判断し、平成27年3月期の通期連結業績予想を修正しております。

詳細は、平成26年11月5日公表の「業績予想の修正及び為替差損の発生、並びに期末配当予想の据置きに関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,299,305	5,530,546
受取手形及び売掛金	6,878,985	6,710,753
電子記録債権	292,810	220,310
商品及び製品	1,465,631	1,399,230
仕掛品	353,140	411,058
原材料及び貯蔵品	344,135	375,556
繰延税金資産	23,823	23,111
未収入金	219,460	207,755
その他	206,589	235,531
貸倒引当金	△19,526	△14,914
流動資産合計	15,064,356	15,098,940
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,570,060	8,316,286
減価償却累計額	△2,956,502	△3,126,242
建物及び構築物(純額)	4,613,557	5,190,043
機械装置及び運搬具	6,542,349	6,359,670
減価償却累計額	△4,450,655	△4,204,178
機械装置及び運搬具(純額)	2,091,693	2,155,492
工具、器具及び備品	774,746	824,683
減価償却累計額	△514,064	△555,961
工具、器具及び備品(純額)	260,682	268,722
土地	1,407,228	1,381,929
建設仮勘定	978,526	128,646
有形固定資産合計	9,351,688	9,124,834
無形固定資産	148,978	136,716
投資その他の資産		
投資有価証券	1,706,382	1,943,182
関係会社株式	—	246,576
繰延税金資産	5,455	5,287
その他	1,074,891	1,013,868
貸倒引当金	△48,156	△44,683
投資その他の資産合計	2,738,572	3,164,232
固定資産合計	12,239,239	12,425,782
資産合計	27,303,595	27,524,723

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,323,075	8,977,462
短期借入金	3,264,000	2,461,200
1年内返済予定の長期借入金	499,520	419,736
1年内償還予定の社債	30,000	15,000
リース債務	177,091	141,435
未払法人税等	96,336	35,555
賞与引当金	218,042	287,675
その他	889,861	909,616
流動負債合計	13,497,927	13,247,683
固定負債		
長期借入金	1,790,969	2,593,382
リース債務	276,316	303,742
繰延税金負債	399,013	436,843
再評価に係る繰延税金負債	2,913	2,913
環境対策引当金	10,372	10,372
退職給付に係る負債	724,139	741,770
資産除去債務	49,459	50,364
負ののれん	1,615	—
その他	267,776	234,408
固定負債合計	3,522,576	4,373,798
負債合計	17,020,503	17,621,481
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,137,754	3,137,754
資本剰余金	2,343,068	2,299,765
利益剰余金	4,751,106	4,275,979
自己株式	△155,347	△12,087
株主資本合計	10,076,581	9,701,411
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	156,126	307,352
土地再評価差額金	5,273	5,273
為替換算調整勘定	△18,731	△174,590
その他の包括利益累計額合計	142,669	138,035
少数株主持分	63,841	63,795
純資産合計	10,283,091	9,903,242
負債純資産合計	27,303,595	27,524,723

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	21,565,760	20,644,021
売上原価	19,135,088	18,500,347
売上総利益	2,430,671	2,143,673
販売費及び一般管理費	2,320,480	2,280,581
営業利益又は営業損失(△)	110,191	△136,908
営業外収益		
受取利息	8,203	9,725
受取配当金	4,713	5,876
仕入割引	8,482	—
持分法による投資利益	34,648	—
スクラップ売却益	19,433	16,714
為替差益	301,952	—
貸倒引当金戻入額	—	3,832
その他	41,440	8,517
営業外収益合計	418,874	44,665
営業外費用		
支払利息	75,441	65,015
為替差損	—	112,775
その他	11,182	22,926
営業外費用合計	86,624	200,717
経常利益又は経常損失(△)	442,441	△292,960
特別利益		
固定資産売却益	25,333	647
その他	—	30
特別利益合計	25,333	677
特別損失		
固定資産処分損	5,966	2,384
特別退職金	—	17,935
特別損失合計	5,966	20,319
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	461,808	△312,602
法人税、住民税及び事業税	139,911	85,767
法人税等調整額	82,783	△56,554
法人税等合計	222,695	29,212
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	239,113	△341,815
少数株主利益	119	6
四半期純利益又は四半期純損失(△)	238,993	△341,822

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	239,113	△341,815
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,754	151,225
為替換算調整勘定	585,316	△155,880
持分法適用会社に対する持分相当額	108,263	—
その他の包括利益合計	733,333	△4,654
四半期包括利益	972,447	△346,469
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	972,250	△346,423
少数株主に係る四半期包括利益	197	△45

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	461,808	△312,602
減価償却費	579,452	613,612
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,286	△8,084
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	41,239	21,046
受取利息及び受取配当金	△12,916	△15,601
支払利息	75,441	65,015
為替差損益(△は益)	12,950	19,825
固定資産処分損益(△は益)	△19,366	1,737
売上債権の増減額(△は増加)	△338,424	166,687
たな卸資産の増減額(△は増加)	△161,125	△45,879
仕入債務の増減額(△は減少)	1,245,218	717,142
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△58,722	△31,811
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△44,787	7,685
その他	147,739	66,068
小計	1,929,792	1,264,842
利息及び配当金の受取額	23,026	24,047
利息の支払額	△65,979	△45,705
法人税等の支払額	△171,595	△148,560
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,715,244	1,094,623
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,708	△3,016
定期預金の払戻による収入	110,518	4,648
有形固定資産の取得による支出	△695,322	△546,823
有形固定資産の売却による収入	111,230	157,503
無形固定資産の取得による支出	△17,598	△16,950
長期前払費用の取得による支出	△2,668	△10,454
投資有価証券の取得による支出	△1,398	△2,002
子会社株式の取得による支出	-	△246,576
貸付けによる支出	△1,500	△1,682
貸付金の回収による収入	5,112	5,170
その他の支出	△16,555	△23,733
その他の収入	8,008	61,465
投資活動によるキャッシュ・フロー	△510,880	△622,451

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	234,000	△781,500
長期借入れによる収入	170,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△392,518	△294,748
社債の償還による支出	△65,000	△15,000
リース債務の返済による支出	△365,462	△130,623
割賦債務の返済による支出	△165,874	△34,289
自己株式の取得による支出	△31	△29
自己株式の売却による収入	—	99,986
配当金の支払額	△131,265	△132,986
その他	△24	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	△716,177	△289,224
現金及び現金同等物に係る換算差額	△108,374	50,176
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	379,811	233,125
現金及び現金同等物の期首残高	3,932,572	5,240,735
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,312,384	5,473,860

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年5月15日開催の取締役会決議に基づき、第三者割当による自己株式の処分を行い、平成26年5月30日を払込期日として普通株式221,700株を処分しました。この結果、当第2四半期累計期間において、資本剰余金が43,302千円、自己株式が143,289千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金は2,299,765千円、自己株式は12,087千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注3)
	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	計				
売上高									
外部顧客への売上高	5,971,182	9,318,097	3,530,516	1,745,566	20,565,361	1,000,398	21,565,760	—	21,565,760
セグメント間の内部 売上高又は振替高	189,386	—	454,348	—	643,734	15,079	658,813	△658,813	—
計	6,160,568	9,318,097	3,984,864	1,745,566	21,209,096	1,015,478	22,224,574	△658,813	21,565,760
セグメント利益 又は損失(△)	230,080	△19,845	15,868	△22,261	203,842	△76,495	127,347	△17,155	110,191

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、RFID等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、棚卸資産の調整額等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 当社はセグメント利益又は損失を算定するにあたり、事業セグメントに直接配賦できない販売費及び一般管理費をその発生により便益を受ける程度に応じ、合理的な基準によって関連する報告セグメントに配賦しております。配賦した販売費及び一般管理費の合計は630,621千円であり、各報告セグメントへの配賦金額は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	その他	合計
全社費用配賦前の セグメント利益又は 損失(△)	305,754	326,996	41,093	103,863	△19,739	757,969
全社費用	75,674	346,841	25,224	126,124	56,755	630,621
セグメント利益 又は損失(△)	230,080	△19,845	15,868	△22,261	△76,495	127,347

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注3)
	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	計				
売上高									
外部顧客への売上高	5,454,315	9,494,584	2,874,112	1,645,845	19,468,856	1,175,164	20,644,021	—	20,644,021
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,799	—	104,396	—	116,196	99,271	215,467	△215,467	—
計	5,466,115	9,494,584	2,978,508	1,645,845	19,585,052	1,274,436	20,859,489	△215,467	20,644,021
セグメント利益 又は損失(△)	26,662	△33,459	△115,904	△36,735	△159,436	70,530	△88,906	△48,002	△136,908

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、RFID等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、棚卸資産の調整額等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. 当社はセグメント利益又は損失を算定するにあたり、事業セグメントに直接配賦できない販売費及び一般管理費をその発生により便益を受ける程度に応じ、合理的な基準によって関連する報告セグメントに配賦しております。配賦した販売費及び一般管理費の合計は495,162千円であり、各報告セグメントへの配賦金額は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	その他	合計
全社費用配賦前の セグメント利益又は 損失(△)	110,840	214,121	△91,146	47,442	124,998	406,256
全社費用	84,177	247,581	24,758	84,177	54,467	495,162
セグメント利益 又は損失(△)	26,662	△33,459	△115,904	△36,735	70,530	△88,906

Ⅲ 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。